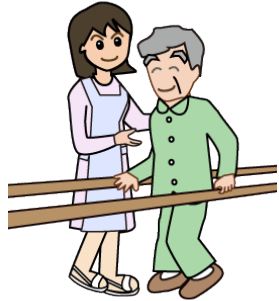


# 医療ニーズ;サルコペニアの簡易診断機器



フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

## 医療ニーズ提案部門 滋賀医科大学 附属病院 リハビリテーション部

### 「骨格筋量を簡易に評価したい」

■リハビリテーション部ホームページ

[http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central\\_clinic/rehabilitation\\_dep/index.html](http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/rehabilitation_dep/index.html)

#### ■ニーズの背景

・加齢による骨格筋量低下は生理的現象である。一方、低下が一定量を超える場合、サルコペニアとして区別され、全身の骨格筋量の評価により診断される。現在、高精度で簡易な診断機器が望まれる。

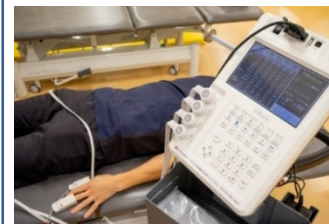
#### ■現在の対応方法

- ・サルコペニアの診断では、X線を用いた骨量測定(DXA法)を基に計算によって、骨格筋肉量を求め、診断指標とする。
- ・最近では、X線の被爆を避けるために、体組成計を用いた方法も利用されている。

#### ■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・日本人の65歳以上の高齢者におけるサルコペニアの有病者数は大規模調査では6~12% (約100~200万人)とされている。  
[http://jssf.umin.jp/jssf\\_guideline2017.html](http://jssf.umin.jp/jssf_guideline2017.html)
- ・別の長期疫学研究の調査(2014年)でも、日本人の65歳以上の高齢者におけるサルコペニアの有病者数は男性が約132万人、女性が約139万人と推定されている。  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspfsm/66/1/66\\_33/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspfsm/66/1/66_33/_pdf)

#### 【イメージ・参考例】現在の体組成測定機器



#### 機能アイデア例

- ・体組成計の原理を利用した高精度の機能
- ・骨格筋量を直接推計できるような機能
- ・生化学的なバイオマーカー

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: [hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp)